

# 南三陸 復興まちづくり通信

第33号（平成29年3月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 南三陸さんさん商店街新装オープン！

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた南三陸町志津川に3月3日、「南三陸さんさん商店街」が新装オープンしました。震災後の2012年2月に開業した仮設のさんさん商店街は、町に200万人近い人を呼び込みました。震災からまもなく6年。本設商店街として新たな歩みを始めました。新商店街は木造平屋6棟から成り、延べ床面積は約3,000平方

（「新さんさん商店街」の遠望＝オープン初日撮影）

メートル。外材には地元特産の南三陸スギがふんだんに使われています。飲食、鮮魚、水産加工販売、理美容など計28店が入居。仮設商店街から23店が移り、コンビニや産直施設など5店が新規出店しました。中央にはフードコートやイベント会場として利用できる「さんさんコート」が設けられました。町の中心に誕生した新しい観光・交流拠点として、南三陸町の復興を力強くけん引することが期待されます。

## 「いのちと地域を守る」誓い新たに

### 寄木地区で防災・減災ワークショップ「むすび塾」開催

河北新報社が主催する防災・減災ワークショップ「むすび塾」が2月28日、歌津寄木地区で開かれました。地区住民やボランティアなど約20人が大津波を想定した避難訓練を実施。地区の集会所で行われた「語り合い」では、「東日本大震災と今」・「震災の振り返り」・「防災・備えの現状、今後」などをテーマに意見を述べ合い、震災から間もなく6年になるのを前に、さらに防災意識を高めていくことを誓いました。



（「むすび塾」の語り合いの様子＝寄木・葦の浜集会所）

## 広がりを示す木の家づくり活動

南三陸町産材を活用した住宅建築を推進している「南三陸木の家づくり互助会」（小野寺寛会長）の活動が広がりを示しています。これまで7棟の板倉の家が完成しており、2月には8棟目となる板倉の家が着工。5月の連休明けにはもう1棟が建築に着手する予定です。2月10日に開催された役員会では、気仙沼市の住民から建設依頼があったことや、志津川中央団地の隣地に住宅再建を希望する町民などから、3件の問い合わせが来ていることが報告されました。



(2月に着工した板倉の住宅＝戸倉地区波伝谷防集団地)



(交流会での会食の様子＝伊里前復興住宅の集会所)

## 屋食を囲みながら団楽

### ～歌津婦人会が公営住宅で交流会開催～

町営伊里前復興住宅の集会所で2月7日、歌津婦人会（佐藤ふく子会長）の主催による交流会が開かれ、入居者などおよそ20人が参加しました。

婦人会のメンバーが点てた抹茶と和菓子を味わった後、志津川沼田の高橋洋志さんのアコーディオン伴奏で童謡や懐メロなどを歌いました。軽い体操で身体をほぐした後、NPO法人夢未来南三陸「まちづくり事業部」提供の手打ちの「二八そば」や会員手作りの海苔巻やいなり寿司が振る舞われ、会食をしながら親睦を深めました。

## “つなげよう花の心”

### ～戸倉復興住宅で「生け花交流会」～

東日本大震災の被災者が暮らす戸倉復興公営住宅の集会所で3月1日、住民の交流を促すイベント「生け花交流会」がありました。復興みなさん会が主催したもので、入居者16人が参加。東京や仙台からお出でになった華道の家元の先生方5人の指導で生け花を楽しみました。この日は、ひな祭りが近いということで、桃の節句にちなんで、桃を主材に、アイリス・菜の花・小菊などを生けました。出来上がった作品は、花器や剣山と共に参加者にプレゼントされました。



(和やかな雰囲気の中で行われた生け花交流会)

一般社団法人 復興みなさん会



ジャパン・プラットフォーム（JPF）「共に生きる」ファンド助成事業

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)